

## 受水槽付給水ユニット リルポンミニ RMB 型

### お願い

本説明書は、別添の「ホームポンプ取扱説明書」とあわせて保管及びご参照ください。

### **▲ 警告**

この説明書を読んで理解するまでは、給水ユニットの操作および保守・点検を行わないでください。  
この説明書は、給水ユニットの操作または保守・点検を行う場合、いつも調べられるように大切に保管してください。

### 設備工事を行う皆様へ

この説明書は、給水ユニットの操作・保守・点検を行うお客様に必ずお渡しください。



## 保証の限定

1. 保証期間中、正常なご使用にもかかわらず、当社が納入した機械の設計または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合に限り、その部分について無償で修理または交換をします。
2. 前項による保証範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害の補償はいたしません。
3. 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
  - (1) 故障、破損が当社の納入していない機器が原因で発生した場合
  - (2) 保証期間経過後の故障、破損
  - (3) 火災、天災、地震等の災害および不可抗力による故障、破損
  - (4) 当社に承諾なしで実施された修理、改造による故障、破損
  - (5) 指定品以外の部品をご使用された場合の故障、破損
4. 給水ユニットの誤用や乱用が原因で発生した損害についての責任は全くないものとします。また、このことによる技術員の派遣費用は、有償とさせていただきます。
5. 不具合の原因が不明確な場合は、協議の上処置を決定することとします。

## 本書の目的

本書の目的は、給水ユニットについて正しい操作および保守・点検方法を知っていただくために詳しい情報を提供することです。

また、本書は、給水ユニットの操作経験者または操作経験者から指導を受けた人を対象として制作しており、以下の情報を記載しております。また、配線工事は、電気工事士等の資格を有する人に限定して実施してください。




## 目次

保証の限定	I	
本書の目的	II	
目次	II	
1. 安全について		
1. 1 警告用語の種類と意味	1-1	
1. 2 安全順守事項	1-1	
1. 2. 1 運転操作に関する順守事項	1-1	
1. 2. 2 据付け・保守・点検に関する順守事項	1-2	
2. ユニットの構成と概要		
2. 1 各部の名称	2-1	
2. 2 ユニットの仕様	2-2	
3. ユニットの据付け		
3. 1 ご使用の前に	3-1	
3. 2 据付け時の注意事項	3-1	
3. 3 配管工事の注意事項	3-2	
3. 4 配線工事の注意事項	3-4	
3. 5 防寒対策に関する注意事項	3-4	
3. 6 運転及び取扱い	3-5	
4. 故障の原因と対策		4-1

# 1. 安全について

## 1.1 警告用語の種類と意味

取扱説明書では、危険度の高さ(または事故の大きさ)にしたがって、次の4段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意味
 <b>危険</b>	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは、重傷を負う場合に使用されます。
 <b>警告</b>	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは、重傷を負うかもしれない場合に使用されます。
 <b>注意</b>	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽傷を負う場合または機器・装置が損傷する場合に使用されます。
<b>注記</b>	特に注意を促したり、強調したい情報について使用されます。

## 1.2 安全順守事項



電動機や制御盤の絶縁劣化等は、漏電、感電または火災の原因となります。  
機器の寿命や破損防止を考慮し、換気を十分に行い周囲温度0~40℃としてください。また、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、結露などがなく、屋内設置型に関しては風雨や直接日光が当たらないようにしてください。



ご使用の設備は、定期的に点検及び各 부품のメンテナンスを行い、維持管理を行ってください。



電動機や制御盤は一定年数を超えて使用されますと、経年劣化による発火等の事故に至るおそれがあります。

### 1.2.1 運転操作に関する順守事項

- (1) 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しないでください。火災・感電の原因になります。

- (2) ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、漏電遮断器を操作しないでください。  
感電の原因になります。
- (3) ポンプカバーを外したままにしないでください。  
電動機内に雨水やほこりが入り、絶縁劣化などで感電や火災の原因になります。
- (4) 凍結防止のために、ポンプカバーや内部の電動機部に毛布などを被せないでください。  
過熱による発火で火災の原因になります。
- (5) 運転中は、ポンプや電動機に触れないでください。  
やけどをすることがあります。
- (6) 本体の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。  
事故の原因になることがあります。
- (7) 空運転(水が出ない状態での運転)は絶対にしないでください。  
火災・感電の原因になることがあります。
- (8) 定格電圧以外では、ご使用にならないでください。  
火災・感電の原因になることがあります。

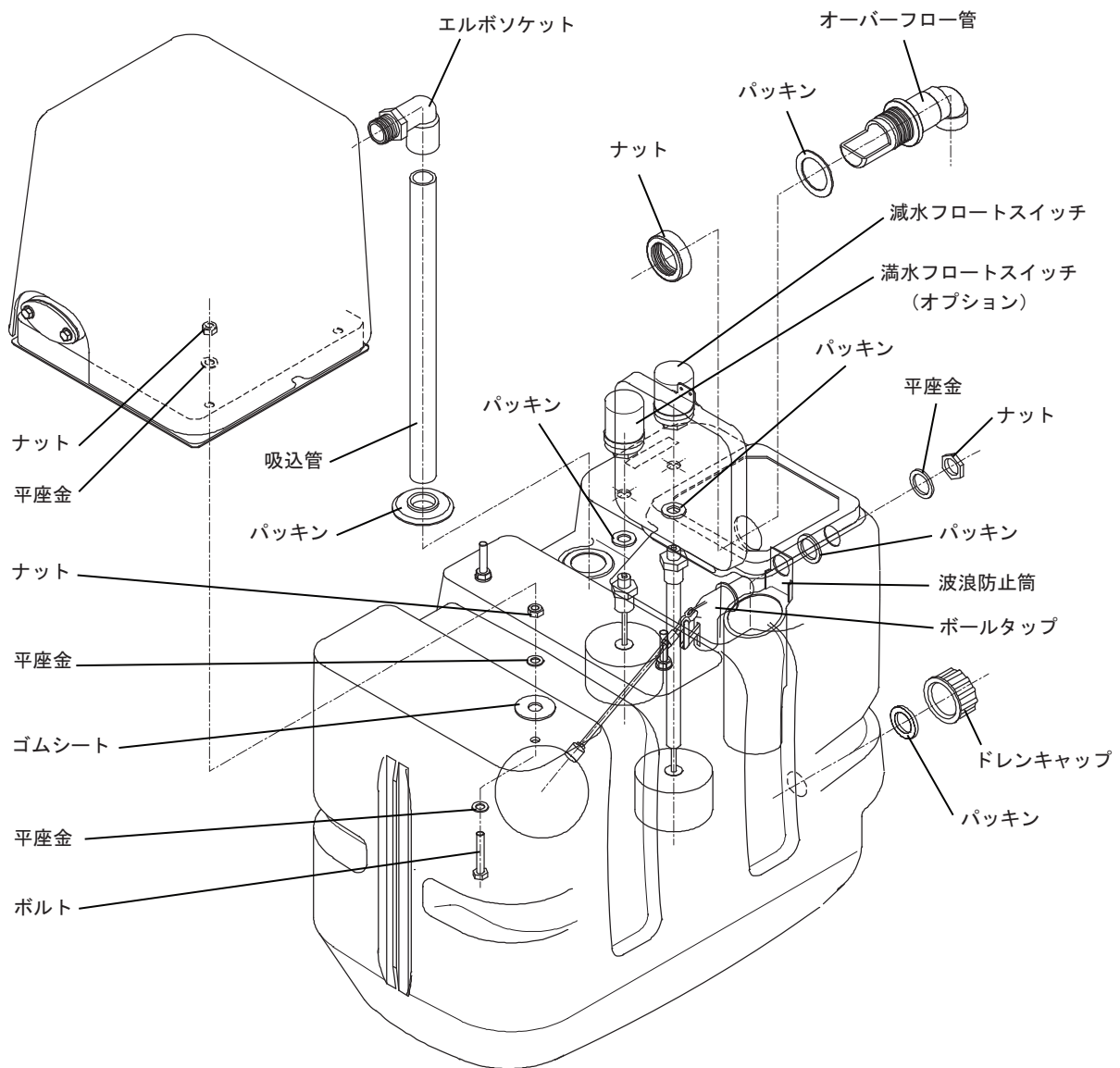
### 1. 2. 2 据付け・保守・点検に関する順守事項

- (1) 絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。  
発火したり、異常動作してけがの原因になります。
- (2) 保守・点検の時は必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器をOFFにしてください。
- (3) ポンプカバー内部に物を入れしないでください。  
過熱による発火で火災の原因になります。
- (4) アース工事は必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器をOFFにして行ってください。  
感電の原因になります。

## 2. ユニットの構成と概要

### 2.1 各部の名称

代表図(RMB0.5型 単独運転)  
※詳細は工事説明書を参照してください。



## 2.2 ユニットの仕様



**警告**

決められた製品仕様以外でのご使用は行わないでください。  
感電・火災・故障の原因になります。

設置場所	屋内・屋外(周囲温度0~40℃)
受水槽	材質:超高分子量ポリエチレン(50ℓ、100ℓ、200ℓ、300ℓ、500ℓ) FRP(1000ℓ)

受水槽型式	受水槽容量 (ℓ)	有効容量 (ℓ)	ボールタップ 口径 (mm)	オーバーフロー 口径 (mm)	カラー
RMB0.5	50	72	20	32	グレー
RMB1	100	138	20	32	グレー
RMB2	200	232	13	32	グレー
RMB3	300	268	13	32	ベージュ
RMB5	500	442	13	32	ベージュ
RMB10	1000	740	13	32	クリーム色 (マンセル2.5Y9/5)



### 3. ユニットの据付け

#### 3.1 ユニットご使用の前に

ユニットがお手元に届きましたら、まず次の事項を確認してください。

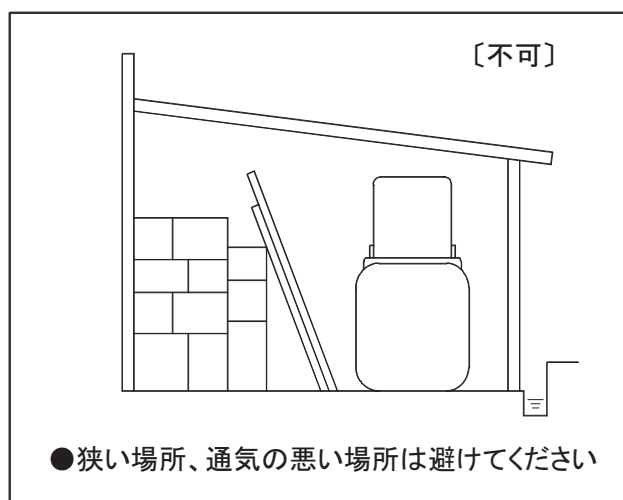
- (1) 銘板記載事項がご注文通りの物であること。
- (2) 輸送中に破損した箇所は無いこと。
- (3) ボルト・ナット等締付け部分が緩んでいないこと。
- (4) ご注文された付属品が全てそろっていること。

#### 3.2 据付け時の注意事項

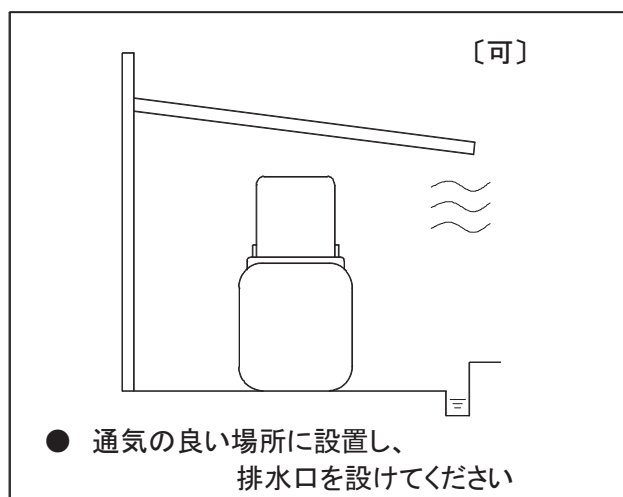


電動機や制御盤の絶縁劣化等は、漏電、感電または火災の原因となります。機器の寿命や破損防止を考慮し、換気を十分に行い周囲温度 0~40℃としてください。また、ほこり、腐食性及び爆発性ガス、塩分、湿気、結露などがなく、屋内設置型に関しては風雨や直接日光が当たらないようにしてください。

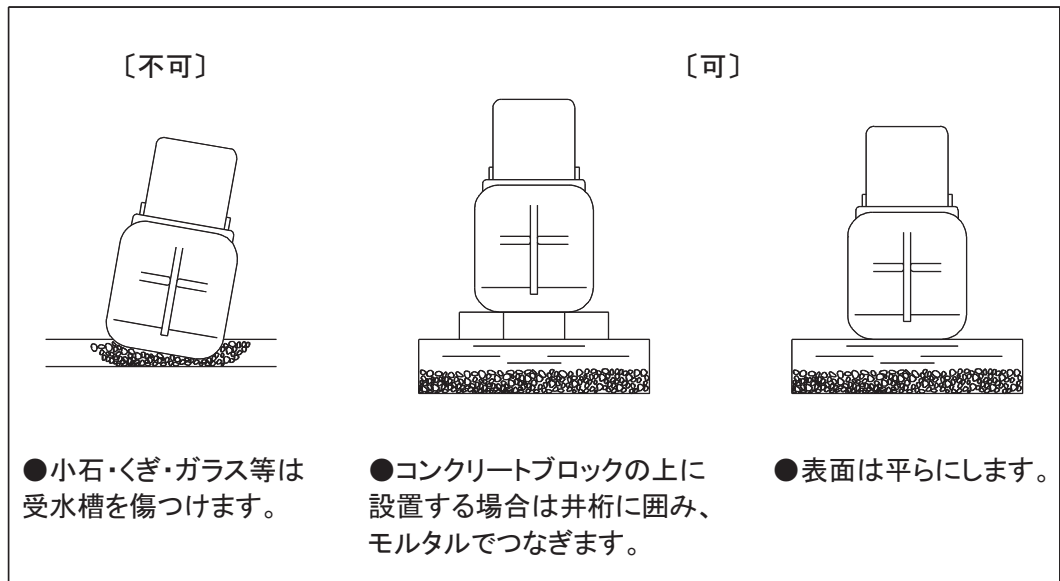
- (1) 運転中のポンプが日常監視しやすく、修理、点検が容易にできる、通気の良い場所を選んでください。



- (2) 電動機(モーター)、配電設備は、湿気を嫌います。必ず排水設備を充分に行ってください。



(3) 設置面は、ユニットの重量に充分耐えるだけの床面積と、深さをもたせてください。

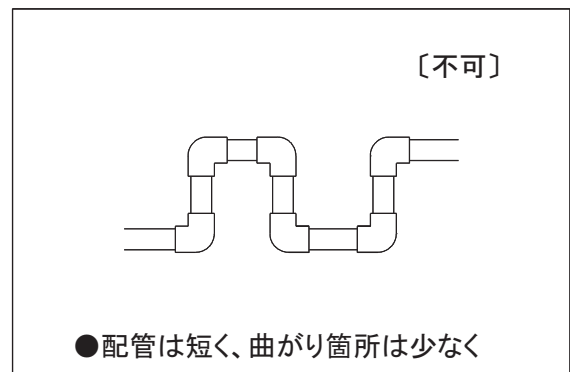


(4) 設置面は必ず水準器を用いて水平を確かめ、表面は平らにして、受水槽を傷つけないように注意してください。

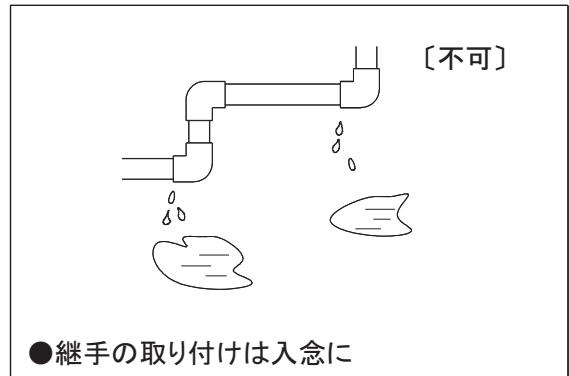
### 3.3 配管工事の注意事項

配管は、地域によっては制限される事がありますので、各水道局または自治体発行の「水道局施行基準」に従って工事を行ってください。

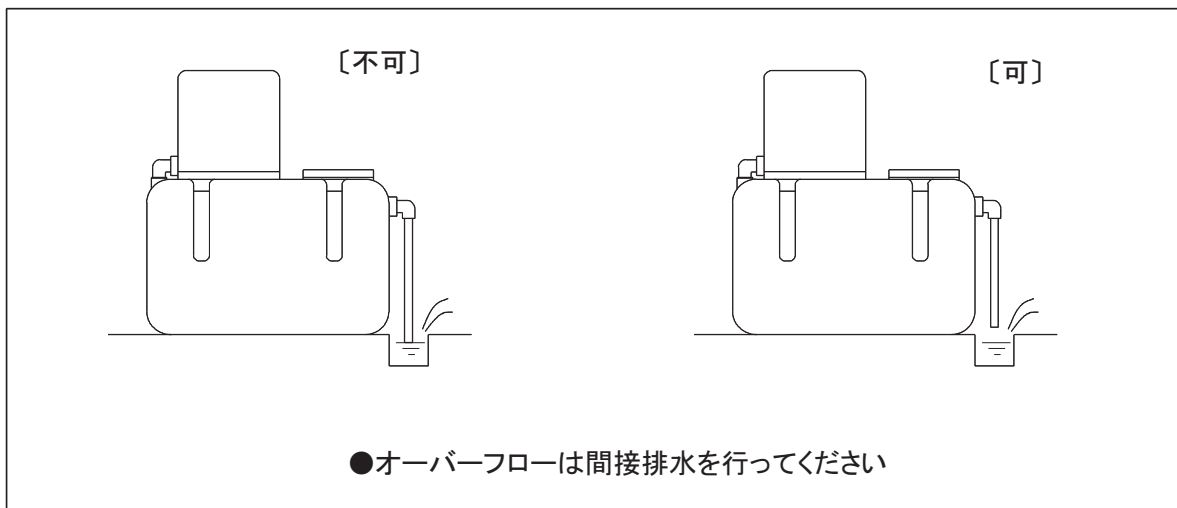
- (1) 配管は規定の太さの水道用亜鉛メッキ鋼管、配管用ステンレス鋼管、硬化塩化ビニール管、ポリエチレン管をご使用ください。細い管は性能が著しく低下します。
- (2) 給水配管、吐出配管は配管距離を短く、かつ曲がり箇所を少なくし、水の抵抗を最小限におさえてください。



- (3) 配管の継手は入念に取り付けてください。もし水漏れがあると、水量、圧力不足の状態になり、故障の原因となります。



- (4) 送水管(吐出管)の途中には仕切弁を取り付けてください。点検修理に便利です。  
(5) オーバーフロー配管の先端は必ず水面よりはなしてください。排水設備は完全にし、水の逆流を防いでください。



- (6) 数日間水を使用しない時は、受水槽内の水を入れ替えて衛生につとめてください。  
排水はドレン口より行います。(頁2-1の図参照)  
配管途中には必ず仕切弁を取り付けてください。  
(7) ボールタップ及びポンプ吐出口の接続にはフレキシブルチューブを使用してください。  
(フレキシブルチューブは特別付属品となります。)  
(8) 受水槽のドレンに配管接続する際には、ドレンアダプタ(特別付属品)を使用してください。  
ドレンアダプタに無理な力がかかると、ねじ部が破損する恐れがありますので、  
ドレンアダプタのおねじ部には必ずフレキシブルチューブを取付けて配管してください。  
(フレキシブルチューブは特別付属品となります。)

**注意**

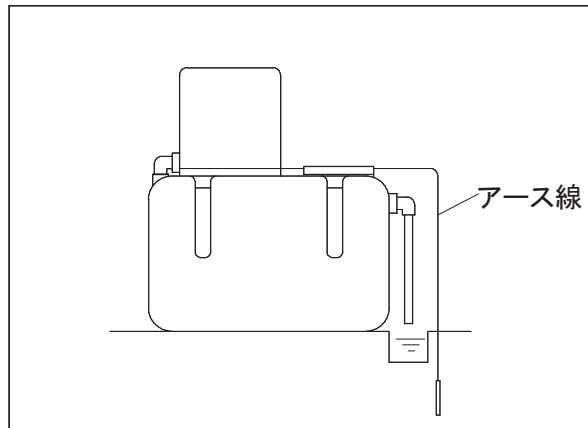
ドレンアダプタ等の樹脂部品を過度に締め付けると、  
ねじ部の破損により漏水することがあります。

### 3.4 配線工事の注意事項



配線工事は、電気設備技術基準および内線規程に従って安全かつ確実に行ってください。  
誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。

・感電防止に備えて必ずアース線を取り付けてください。アース線はアース端子に接続してください。

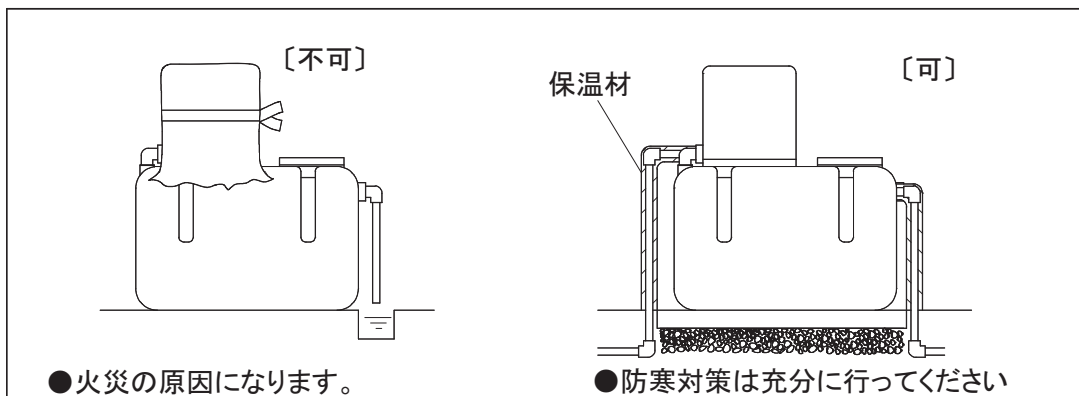


- ・アース工事は必ず電源プラグを抜くか、漏電遮断器をOFFにして行ってください。
- ・アース線をガス管や水道管に接続しないでください。爆発・感電の原因になります。

### 3.5 防寒対策に関する注意事項

冬期は暖かい地方でも急に寒波が襲い、凍結により配管、ポンプなどを破損することがあります。十分に防寒対策を行ってください。

- (1) 給水管、吐出管の横引部はできるだけ地中深く埋めてください。地上に露出している部分は、フェルト、グラスウールなどの保温材を巻いてください。
- (2) ポンプの凍結防止の為、セラミックヒーターを直接ポンプ本体に装着してあります。このヒーターは、サーモスタットにより気温の高低により作動します。(ON 5±3℃、OFF 15±3℃) 長期間使用しない等で電源を落とす場合は、凍結防止の為、必ずポンプ・配管等の水抜きを行ってください。



### 3.6 運転及び取扱い

- (1) 給水管のバルブを開き、受水槽に水を貯めてください。
- (2) 吐出管のバルブと蛇口を開いてください。
- (3) ポンプカバーを取り外してください。
- (4) 呼水口のホッパープラグを取り外し、呼水口から水があふれるまで注水してください。



**注意**

ポンプに呼水をしない状態での運転は絶対に行わないでください。  
ポンプ内の摺動部が焼付を起こす原因になります。

- (5) 異常なく運転を開始したら、蛇口を開閉してポンプが自動運転をするか、水漏れの箇所があるかどうかを確かめてください。



**注意**

運転中は、ケーシング部や電動機に触れないでください。  
高温になっていますので、やけどをすることがあります。

- (6) ①減水フロートスイッチについて(単独運転)

受水槽内の水位が一定水位以下になると、自動的にポンプが停止する「空転防止用減水フロートスイッチ」が付属されています。

- ・フロートが水没していると、自動運転可能です。
- ・フロートが完全に空気中に出ると、自動運転が出来なくなります。

- ②電極棒について(自動交互運転・自動交互並列運転)

電極棒(4P)にて、満水・空転防止(減水)・空転復帰水位を検知します。  
詳細は THP□-V-D 型・THP□-V-W 型の取扱説明書を参照ください。

- (7) 夏期には風通しを良くしてください。

梅雨時や夏期には湿度が高くなり露がつきますので、なるべく風通しよくして内部が乾燥するようにしてください。

- (8) 水抜きの方法

凍結防止、保守・点検・修理などのために、補助タンクやポンプ内の水を抜くときには、次の順序で行ってください。



**警告**

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、漏電遮断器を操作しないでください。感電の原因になります。  
・保守・点検・修理などを行う時は、必ず電源を遮断してください。  
感電やけがの原因になります。

- ① 電源を切り、蛇口を開いて水を出してください。
- ② 補助タンクのホッパープラグを取り外してください。
- ③ ポンプの排水栓を外しますと、ポンプ内の水が排出されます。
- ④ ポンプの吸込側(チェックバルブ)についているプラグと弁を外しますと、給水管内の水が受水槽の中に落ちます。
- ⑤ 排水が終わりましたら、取り外した給水栓、プラグ及び弁を元通り確実に締め付けてください。
- ⑥ 再び運転を始める時は補助タンクに呼水をして、ホッパープラグを取付け、電源を入れてください。

## 4. 故障の原因と対策

ポンプに異常がある時は、原因調査をよく行ってください。また、部品交換・修理が必要な場合は、必ず当社に依頼してください。

状 態	原 因	処 置
ポンプが回らない	停電している	電力会社に連絡する
	電源コード断線	コードを取り替える
	圧カスイッチの故障	圧カスイッチを取り替える
	電動機の故障	修理する
	減水フロートスイッチの故障	減水フロートスイッチを取り替える
	プロテクターが作動	プロテクターの復帰ボタンを押してみる 復帰ボタンを押して、すぐまた動作するような場合は、繰り返しボタンを押さず原因を取除いてから押す
	電圧の低下	電力会社に相談する
	コンデンサの不良(単相)	コンデンサを取り替える
	受水槽に水がない	水を確保する
ポンプは回るが揚水しない	吸込側より空気を吸込む	配管の継ぎ目や配管とポンプの接続部を調べて完全にす
	逆止弁(チェックバルブ)の故障	修理する
ポンプが回り続けて止まらない	圧カスイッチの故障	圧カスイッチを取り替える
	流量スイッチの故障	流量スイッチを取り替える
	羽根車の摩耗、または変形	羽根車を取り替える
水を使用しないのにポンプが回り出す	逆止弁(チェックバルブ)の故障	修理する
	配管、蛇口から漏水する	漏水する箇所を点検し、修理する
	流量スイッチの故障	流量スイッチを取り替える
蛇口の開閉に従いポンプがすぐ起動する	流量スイッチの故障	流量スイッチを取り替える
プロテクターが働く	電圧の異常低下	電力会社に相談する
	ポンプ内に異物が入った	カバーを外し異物を取除く
	モーターが唸るのみで回らない	修理する
	ポンプの凍結	お湯で氷を溶かし、保温装置を調べる





# テラル株式会社

www.teral.net

<b>本社</b>	広島県福山市御幸町森脇230	〒720-0003	TEL.084-955-1111	FAX.084-955-5777
<b>東北支店</b>				
仙台営業所	仙台市宮城野区銀杏町39-25	〒983-0047	TEL.022-232-0115	FAX.022-238-9248
札幌営業所	札幌市中央区北11条西23丁目1-3	〒060-0011	TEL.011-644-2501	FAX.011-631-8998
北東北営業所	盛岡市津志田南2丁目12-27	〒020-0839	TEL.019-601-8818	FAX.019-601-8819
郡山営業所	郡山市島1丁目13-9	〒963-8034	TEL.024-922-5122	FAX.024-922-4226
<b>北関東支店</b>				
大宮営業所	さいたま市見沼区大和田町2-1018-2	〒337-0053	TEL.048-681-7822	FAX.048-681-7082
新潟営業所	新潟市中央区山二ツ5丁目6-21	〒950-0922	TEL.025-287-5032	FAX.025-287-3719
長岡営業所	長岡市宮園3丁目1-21	〒940-2021	TEL.0258-29-1725	FAX.0258-29-2369
水戸営業所	水戸市白梅4丁目2-16	〒310-0804	TEL.029-224-8904	FAX.029-231-4044
土浦営業所	牛久市ひたち野西4丁目22-3 オーシャンパドラー フロアC	〒300-1206	TEL.029-870-2760	FAX.029-870-2761
宇都宮営業所	宇都宮市鶴田町3333番地18	〒320-0851	TEL.028-346-3400	FAX.028-346-9432
前橋営業所	前橋市元総社町84-3	〒371-0846	TEL.027-253-0262	FAX.027-253-0278
長野営業所	長野市大字南堀401番地の1 豊和ビル3	〒381-0016	TEL.026-243-2860	FAX.026-243-2861
<b>東京支店</b>				
城東営業所	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7769	FAX.03-3818-6763
城西第1・第2営業所	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-6752	FAX.03-3818-6763
アクアシステム関東営業所	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-5684-0238	FAX.03-5684-0218
東京開発グループ	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-6846	FAX.03-3818-6763
立川営業所	立川市幸町3丁目32-9	〒190-0002	TEL.042-536-2714	FAX.042-538-7080
千葉営業所	千葉市中央区今井町1493-4	〒260-0815	TEL.043-264-5252	FAX.043-226-7353
横浜営業所	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25(テクノウェイブ100 10F)	〒221-0031	TEL.045-450-5351	FAX.045-450-5352
<b>東京支社</b>				
営業企画室	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7700	FAX.03-3818-6790
東京産業システム1課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-8101	FAX.03-3818-6798
東京産業システム2課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-5805-1311	FAX.03-3818-6798
東京環境システム1課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7800	FAX.03-3818-5031
東京環境システム2課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7766	FAX.03-3818-5031
東京環境システム3課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7800	FAX.03-3818-5031
東京施工管理1課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7764	FAX.03-3818-6437
東京施工管理2課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-6846	FAX.03-3818-5031
市場開発	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7133	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術1課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7133	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術2課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7133	FAX.03-3818-5031
ソリューション技術3課	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-7133	FAX.03-3818-5031
<b>北陸支店</b>				
金沢営業所	金沢市松島2丁目18	〒920-0364	TEL.076-240-0350	FAX.076-240-0357
富山営業所	富山市田中町2丁目10-24	〒930-0985	TEL.076-433-2151	FAX.076-432-8234
福井営業所	福井市問屋町3丁目501番地(ウイング八田101号)	〒918-8231	TEL.0776-28-5361	FAX.0776-28-5362
<b>中部支店</b>				
名古屋営業所	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-339-0871	FAX.052-339-0895
名古屋環境システム課	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-339-0875	FAX.052-339-0895
名古屋産業システム課	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-339-0891	FAX.052-339-0895
ソリューション技術名古屋G	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-380-7544	FAX.052-339-0895
アクアシステム中部営業所	名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F)	〒460-0026	TEL.052-332-6510	FAX.052-332-6513
静岡営業所	静岡市駿河区豊田3丁目2-15	〒422-8027	TEL.054-285-3201	FAX.054-284-1831
沼津営業所	沼津市若葉町3-10	〒410-0059	TEL.055-923-1377	FAX.055-923-3449
浜松営業所	浜松市東区丸塚町132-1	〒435-0046	TEL.053-463-1701	FAX.053-464-1818
岐阜営業所	岐阜市六条南3丁目7-11	〒500-8358	TEL.058-271-6651	FAX.058-274-7379
<b>大阪支店</b>				
大阪第1営業所	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8805	FAX.06-4803-8823
大阪第2営業所	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8806	FAX.06-4803-8824
近畿アクアシステム課	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8807	FAX.06-4803-8829
大阪開発グループ	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8819	FAX.06-4803-8835
大阪環境システム課	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8808	FAX.06-4803-8825
大阪施工管理課	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8814	FAX.06-4803-8828
大阪産業システム課	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8809	FAX.06-4803-8826
ソリューション技術大阪G	大阪市西区靉本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F)	〒550-0004	TEL.06-4803-8813	FAX.06-4803-8828
南大阪営業所	堺市北区百舌鳥梅町3丁目47-1(グレース中百舌鳥トキワ2A号室)	〒591-8032	TEL.072-253-4391	FAX.072-253-6966
滋賀営業所	守山市守山2丁目16-38-103	〒524-0022	TEL.077-583-3666	FAX.077-583-3685
京都営業所	京都市伏見区竹田中川原町359番地(TMKビル 1F)	〒612-8412	TEL.075-647-1550	FAX.075-647-1537
神戸営業所	神戸市中央区多聞通2丁目4-4(ブックローン神戸ビル 7F)	〒650-0015	TEL.078-382-1991	FAX.078-382-1993
姫路営業所	姫路市飾磨区三宅1-192番地 305号	〒672-8048	TEL.079-281-5511	FAX.079-281-1487
<b>中国支店</b>				
広島営業所	広島市西区三篠町3-12-21(第2ベルビィ三篠 1F)	〒733-0003	TEL.082-537-0660	FAX.082-537-0678
福山営業所	福山市御幸町森脇337-2	〒720-0003	TEL.084-961-0222	FAX.084-961-0211
米子営業所	米子市上福原5丁目1-50	〒683-0004	TEL.0859-32-2970	FAX.0859-32-2971
岡山営業所	岡山市北区上中野2丁目24-14	〒700-0972	TEL.086-241-4221	FAX.086-241-4230
<b>四国支店</b>				
高松営業所	高松市東八ヶ町4-5	〒761-8054	TEL.087-867-4040	FAX.087-867-4042
松山営業所	松山市朝生田町2丁目1-33	〒790-0952	TEL.089-935-4335	FAX.089-935-4331
<b>九州支店</b>				
福岡第1・第2営業所	福岡市博多区山王1丁目6-3	〒812-0015	TEL.092-474-7161	FAX.092-474-7167
北九州営業所	北九州市小倉北区中井5丁目11-13	〒803-0836	TEL.093-571-5731	FAX.093-591-0192
久留米営業所	久留米市山川追分1丁目4-24	〒839-0814	TEL.0942-88-5825	FAX.0942-88-5823
大分営業所	大分市仲西町1丁目10-15	〒870-0135	TEL.097-551-1857	FAX.097-552-0589
熊本営業所	熊本市東区上南部2丁目7番12号	〒861-8010	TEL.096-380-8388	FAX.096-380-1795
長崎営業所	長崎市大橋町7-5(横山ビル 1F)	〒852-8134	TEL.095-848-2221	FAX.095-848-5137
宮崎営業所	宮崎市大字芳土870	〒880-0123	TEL.0985-39-1577	FAX.0985-39-1089
鹿児島営業所	鹿児島市荒田2丁目59-11	〒890-0054	TEL.099-253-4321	FAX.099-253-4325
沖縄営業所	那覇市壺川2-1-5	〒900-0025	TEL.098-851-9591	FAX.098-851-9593

●駐在所 徳島、高知、山口

修理・サービスのご利用は最寄りの支店・営業所へご連絡ください。

テラルテクノサービス株式会社